

# 中一国語科通信

## 第六回

### 世の中に多い反対ことば

みなさん、こんにちは。みなさんは、「反対ことば」と聞いて、どんな言葉が思い浮かびますか。

「大きい」と「小さい」、「前」と「後ろ」など、様々な言葉が出てきたのではないでしょうか。この反対ことばのことを難しい言葉でいうと、「対義語」といいます。この「対義語」は、みなさんの身の回りにたくさんあります。学習プリントには10個の対義語問題を出していますが、これはほんの一部です。

この「対義語」を、ゲームのように日常生活の中に取り入れてみると、おもしろい発見があるかもしれません。たとえば、このゲームを一人でやる場合には、自分の中で「10秒ルール」(一つの言葉を言うってから10秒以内にその言葉の対義語を言う)などを決めてやってみたり、二人組の対戦形式でやる場合には、この「10秒ルール」を相手に課して、相手が言えなかったら、問題となる言葉を言った方が1ポイント獲得というように、家族でやってみてもいいかもしれませんね。学習は、机に向かって行うやり方もあるけれど、遊びの

中から発想を広げていく方法もあります。自分の工夫次第で、たくさんの方が見つかるのではないのでしょうか。特に、みなさんは大人に比べて頭がやわらかいので、きつと私以上に、おもしろい「対義語ゲーム」を発明してくれるのではないかと期待しています。もし、いいゲームができたなら、教えてくださいね。

さあ、ゲームでたくさんの方の対義語が浮かんできたら、次に、その対義語をノートでもいろいろな紙でも何でもいいので、書き出してみましよう。みなさんは、どれくらいの数の対義語を見つけることができましたか。

ちなみに、学習プリントの答えは、

- ① 「大きい」、「小さい」
- ② 「広い」、「狭い」
- ③ 「遠い」、「近い」
- ④ 「多い」、「少ない」
- ⑤ 「古い」、「新しい」
- ⑥ 「暑い」、「寒い」
- ⑦ 「厚い」、「薄い」
- ⑧ 「熱い」、「冷たい」
- ⑨ 「暖かい」、「涼しい」
- ⑩ 「温かい」、「ぬるい」・「冷たい」

(⑩は、なぜ二つか、分かるかな?短文をつくると、分かるよ。)となります。

これらを、それぞれ「どんな基準で反対なんだろう？」と考えてみると、またおもしろいことが分かるのではないでしょうか。それは、大きなのか、距離なのか、他にも、数、新しさのかなど、一つ一つがちがう基準をもっていることに気づかされます。また、同じ「あつい」でも、漢字がちがうだけで、意味が変わってくるのもおもしろいと思いませんか。こうして考えてみると、「対義語」の世界は奥深いなと思うのです。

次の文章は、ある生徒のある日の日記です。読んでみて、あれっと思った人は、語感の鋭い人です。変なところが二か所あるけど、気づいたかな？

今日は、待ちに待ったマンガの発売日だ。こつこつとおこづかいをためて、この日を待っていたんだ。はやる気持ちをおさえながら、近所の本屋に行った。手に入れた本を手にとり、ページを開じると、主人公と他の登場人物達のやりとりに思わず笑ってしまった。あっという間に時間が過ぎるほど、つまらなかった。



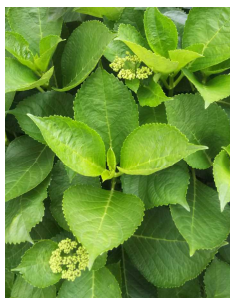
【こたえ】

- ①ページを閉じる→ページを開く  
②つまらなかった→おもしろかった

## この漢字分かるかな？

一雨ごとに草木がみずみずしく、緑を輝かせる季節になりました。散歩中に周りを見ると、様々な花々が目を楽しませてくれます。そんな植物の名前を漢字で書くと、次のようになります。さて、みなさんは、いくつ分かりますか？

- ① 梅  
② 桜  
③ 秋桜  
④ 向日葵  
⑤ 藤  
⑥ 紫陽花  
⑦ 蒲公英  
⑧ 薔薇  
⑨ 山吹  
⑩ 椿  
⑪ 朝顔  
⑫ 菜の花



右の写真もこの中にありますよ。

\* このクイズの答えは、次号に載<sup>の</sup>せします。